

令和3年1月16日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

災害時対応セミナー「災害時ケースマネジメント」報告書

- 1 日 時：令和3年1月16日（土）13：30～16：00
- 2 会 場：リードあしや 会議室CD 及び リモート（Zoom）
- 3 担 当：橋野
- 4 参加者：41人（講師1人 会場5人 オンライン33人 職員2人）
- 5 講 師：津久井 進 弁護士
- 6 ゲストスピーカー：芦屋映像倶楽部あしゾウ クラーク国際記念高等学校
- 7 事業詳細
 - (1) 目的：災害というテーマを通じて、日常からの市民、行政、団体等のつながりを深め、いつでも協働のできるまちを作り上げる。
 - (2) 内容：第1部 津久井先生に聞く！災害時ケースマネジメント
第2部 防災倉庫映像について語る

8 アンケート結果：21件

第1部

津久井先生のケースマネジメント講演について

とても役立った18件 少し役立った2件 物足りなかった1件

本日のイベントの感想やコメントを自由にご記入ください。

- ・行政職員です。行政の施策は、防災に限らず、たいていが津久井先生のおっしゃっていた器に人を合わせるものばかり。発想の転換が必要だと痛感しました。
- ・内容より、オンラインにおいて、映像音声などバタバタが気になりましたね。又は。トラブル時の音声が入り過ぎていました。メインパソコン以外はなるべくコンピューター音声に接続しないようにする方がハウリングが起きないと思います。
- ・弁護士の立場からの防災の話は初めてで、法律の話など、わかりやすかったです。

- ・津久井先生のお話しわかりやすかったです。
- ・初めて見聞きしたことが多くあり、とても勉強になりました。また、高校生たちの活動を知り頼もしく思いました。
- ・新しい知識を注入出来ました。ありがとうございます御座いました。
- ・おにぎりの件、災害支援を実施している NPO などの支援側が、時間軸に合わせ考慮すべきものかと思えます。
災害ケースマネジメント、被災後に複合的に問題を抱えてしまった被災者は自ら何を優先的に問題解決すべきかの判断ができない状況に陥っているかと思えます。被災者を中心に問題解決のための専門家が参加するケース会議等を行い、解決策を提言し、被災者に伴走することで被災者は安心して生活再建に繋がるかと思えます。
- ・津久井先生、みなさん、大変おつかれさまでした。そして、ありがとうございました。もう少し事務局は Zoom 操作を円滑にできるよう、鍛錬してくださいね (笑)。
- ・知らないことが多かったので勉強になりました。
- ・トラブルの中、実施ありがとうございました。せつかくのお話、もっと多くの方に聞いてもらえたらよかったのにと思いました。
- ・衝撃だったのが災害時のイタリアの食事です。
- ・わかりやすく参加しやすい会でした。
- ・防災について知らないことがたくさんありもっと勉強しないといけないと思った。

第2部

防災倉庫映像化の取組み及び映像を鑑賞して、感想のコメント

- ・少しの時間ではありしたが…わかりやすかったです。聞くより見る方がわかりやすいので、この動画はさまざまな所で拝見できるようにしていただきたいです。
- ・とてもわかりやすく親しみやすい内容だと思います。
- ・教材的な映像ではなく、実際に使ってみて感じる事、という視点でまとめられている点がすごくよかった。
- ・オンタイムで参加者皆で動画を見られると良かったですね。
- ・若い世代の方が関わって一緒に活動しているのが素晴らしいと思いました。
- ・どこに防災倉庫があるのか知らなかったのでもって勉強になりました。
- ・食料備蓄は上階にあるのに対し、発電機などが地べたに近いところに置いてあるのは 津波の心配があるところとしてはどうなのかなと不安に感じました。ウイングポンプの設備を動かすところや鍵開けの様子など実際に見ら

れてよかったです。

本セミナーへの参加理由について（複数回答可）

防災関連活動に興味がある。勉強してみたい。 15

防災のグループの運営等に関わっている。自団体での活動の参考としたい 16

津久井先生の講演を聴いてみたい。 11

リードあしやから案内があったから。 4

芦屋市打出小槌町自主防災会のコロナ対策を考えた避難所開設に必要なポップの印刷に…1

大学の紹介にて 1

学生と高齢の方が災害について協力してくれているので、一緒に考えるきっかけの勉強…1

今後、災害セミナーとして取組みたいこと、取組んでほしい内容等

- ・芦屋市防災課と地域包括支援センター、住民と医療機関と連携できたらと思いました。防災訓練や今回の動画とか共有出来たらと思いました。実際にデモを作って使ってみるシミュレーションをしたいと思いました。
- ・避難所体験合宿やってほしいです！
- ・災害が起こった時、自宅地域や自宅が安全であれば、避難所に頼ることなく自助が基本であることをもっと伝える必要性があります。
- ・避難行動用支援者への支援活動について。
- ・災害時備えの一環として公衆衛生のことをもう少し勉強しておきたいです。（感染症対策・トイレのことなど）
- ・このようなセミナーをドンドン開催して下さい。
- ・末永く「防災・減災・備災」セミナーを継続して下さい。

年代

20代 2人 30代 3人 40代 7人 50代 4人 60代 3人 70代 2人

性別

男性 5人 女性 16人

9 振り返り

- ・パソコンおよび配信トラブルが続出したのが一番の問題。パソコンは前々日くらいにWindowsアップデートがあり、パフォーマンスが下がったことが大きな原因であったと思われる。事前準備では問題がなかったが、パソコントラブルの対処、いわゆる災害時対応ができていなかった。
- ・第1部の津久井先生のセミナーは、アンケートからもわかるように高評価

だった。

- ・第2部の映像配信は問題が起きたが、学生・あしゾウと津久井先生とのやりとりはスムーズで、特に学生の真摯な姿が大人の心を打ったようだ。
- ・さらに多様な団体との協働による、世相にあった災害時セミナーの継続を続けていく必要性を感じた。今後も津久井先生をスーパーバイザーとして様々な角度から取り組んでいく。

